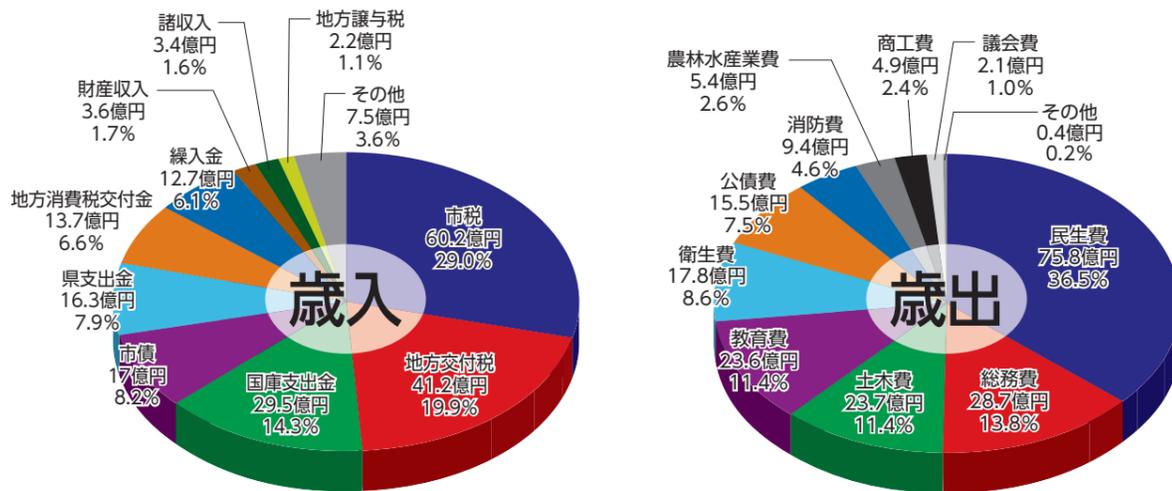


令和4年度 みどり市の 予算概要

3月議会において、令和4年度の予算が成立しましたので、その内容についてお知らせします。みどり市では感染症による経済活動などの制約がある中でも新たな日常に対応した、にぎわいのあるまちづくりを推進するため、「ポストコロナを見据えた未来」に向けた予算編成を行い、一般会計の予算規模を207億3,100万円としました。

問い合わせ先 財政課財政係 ☎(76)0963

一般会計 予算総額 207億3,100万円 (前年度比 4.0%減)



第2次みどり市総合計画 基本政策別予算額

基本戦略	基本政策	予算額	前年度比
1 人が輝くまちづくり	1 健やかに生きる安心のまちづくり	79億2,704万円	4.1%
	2 人を育て文化をはぐくむまちづくり	17億6,636万円	▲57.7%
2 安全で快適なまちづくり	3 安全で安心して生活できるまちづくり	16億4,584万円	3.3%
	4 潤いある快適なまちづくり	8億5,749万円	2.2%
3 活力あふれるまちづくり	5 質の高い利便性あるまちづくり	16億2,258万円	29.1%
	6 にぎわいと活力あるまちづくり	6億9,185万円	12.1%
4 自立と協働のまちづくり	7 市民と行政が協働してまちをつくる	2億41万円	11.9%
	8 自立した都市経営を実現する	32億3,492万円	29.1%
政策の総合推進		27億8,451万円	▲0.9%
合計		207億3,100万円	▲4.0%

※新設小学校設置に係る大型公共事業が完了したため、前年度と比較して予算規模が縮小しています。

市民1人当たりの金額 (家計に例えると)

令和4年度の当初予算額を令和4年1月末現在の住民基本台帳人口(49,705人)で計算

収入 (今年度入る予定のお金)		支出 (今年度出る予定のお金)	
区分	家計	区分	家計
給料(市税)	12万円	医療費や保育料(民生費)	15万円
親からの仕送り(交付税など)	21万円	日用品(総務費)	6万円
ローンの借入(市債)	3万円	家の修繕費(土木費)	5万円
貯金の取り崩し(繰入金)	3万円	習い事や教材費(教育費)	5万円
その他(使用料など)	3万円	その他(衛生費など)	11万円
合計	42万円	合計	42万円

令和4年度 重点施策

○…新規事業、◆…継続事業、▶…事業拡充

①ポストコロナ社会を見据えたデジタル活用

- ▶デジタル化の推進・・・4,030万円
全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できる将来のみどり市創造のため、4つの柱に沿った取り組みを行います。
1)市民生活の利便性の向上
2)デジタル技術を活用した地域活性化
3)行政運営の効率化・省力化
4)デジタル化実現のための基盤・環境整備

②未来へつながる都市基盤への投資

- ▶安心で快適なインフラサービスの安定供給・・・13億6,494万円
道路維持管理事業、道路新設改良事業、排水路整備事業 など
- ▶地域バランスに配慮した「まちのまとまり」形成・・・1,977万円
生活の利便性やサービス産業の生産性を向上させるとともに、持続可能なまちづくりを実現させるために、「岩宿駅周辺都市拠点整備」を始動します。

③将来を見据えた公共施設の整備

- ▶個別施設計画の推進・・・8億4,817万円
公共施設を適切な規模で配置し、安全性や快適性を向上させた資産を将来の世代へ価値ある資産として引き継ぎます。

④新たな魅力と賑わいの創出

- 特産品創出プロジェクト・・・700万円
商品の開発・販路の拡大についてプロフェッショナル人材を招へいし、スクール形式での講座によりプロデュースします。
- ▶魅力度向上プロジェクト・・・1,209万円
市を象徴する「食」を創出し、「〇〇といえばみどり市」、「みどり市といえば〇〇」というものを生み出すことで、地域の活性化につなげます。
- 遊休不動産のリノベーションによるまちづくり事業・・・270万円
長期展望の視点で都市・地域経営の課題を解決していきます。
- 花の里づくり事業・・・931万円
四季を通じていろいろな花が見られるみどり市の特徴を活用し、年間を通じた花のPRによる誘客を図ります。
- ▶みどり市東町地域ビジョン・・・1億7,862万円
社会減(転出)を抑制するとともに社会増(転入)を増やすことで、社会増減の均衡を保つことを目指します。

特別会計

会計名	予算額	前年度比
太陽光発電事業特別会計	5,818万円	▲3.4%
鉄道経営対策事業特別会計	9,027万円	79.5%
国民健康保険(事業勘定)特別会計	57億5,819万円	4.3%
国民健康保険(診療所勘定)特別会計	1億1,125万円	▲2.1%
後期高齢者医療特別会計	6億6,353万円	13.1%
介護保険(保険事業勘定)特別会計	45億5,307万円	▲0.2%
戸別浄化槽事業特別会計	490万円	18.2%
農業集落排水事業特別会計	7,128万円	▲4.8%
企業用地整備事業特別会計	150万円	同額
富弘美術館事業特別会計	1億5,302万円	17.9%
競艇事業特別会計	1,662億2,019万円	▲3.7%

⑤みどり5つのゼロ宣言(防災・環境)

- ▶防災減災対策事業・・・3,199万円
- ▶木造住宅耐震化促進のための補助制度拡充・・・386万円
- PPAの推進で自然災害による死者「ゼロ」・温室効果ガス排出量「ゼロ」・災害時停電「ゼロ」を実現へ
市有施設へオンサイトPPAを導入し、温室効果ガス排出量を大幅に削減、また、災害などの停電時における非常用電源を確保します。
- ▶ごみ年報「ごみ減らしSHOW!」で家庭からごみ減量化を推進・・・205万円
各世帯にごみ年報を発行し、ごみに対する市民意識の向上と、家庭からのごみ減量化を推進します。
- ▶みどり5つのゼロ推進学習・・・41万円
2050年の「ゼロ」に向けた取り組みの主体となる人材育成のため、みどり5つのゼロ宣言に絡めた環境問題を題材とし、市立小・中学校において特別授業を実施します。

⑥特色ある学びの場の創出

- ◆食育の推進
- ◆学校給食管理事業・・・3億8,636万円
- ◆GIGAスクール構想と英語教育
- ◆学校情報機器管理運営事業・・・2,532万円
- ◆英語力向上対策事業・・・373万円
- ▶MIDORIジュニアアカデミー事業の充実・・・228万円
- 笠懸西小学校開校・・・1,067万円
「みどり市立小学校の学校規模の適正化に向けた基本方針(平成22年1月)」に基づき、県内随一の大規模校である笠懸小学校の規模適正化を図るため、分離新設校である「みどり市立笠懸西小学校」が開校します。
- ▶義務教育学校の新設・・・806万円
群馬県内3校目となる9年制の義務教育学校(あずま小中学校)において、大学などと連携した積極的なプログラミング教育やこれまで取り組んできた英語教育の充実を通じ、先進的な教育を一層進めていきます。

⑦ノーマライゼーション社会の実現

- ▶福祉のなんでも相談
地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、包括的な支援体制に取り組みます。
- ◆地域包括支援センター運営事業・・・4,215万円
- ◆地域子育て支援拠点事業・・・5,039万円
- ▶障がい者基幹相談支援センター事業・・・1,277万円
地域における相談支援の中核的な役割として、障がいのある人が安心して生活できるよう、障がい福祉に関する各種相談・情報提供などの支援を総合的に行う機関です。

事業会計

会計名	予算額	前年度比
簡易水道事業 (①収益的支出 +②資本的支出)	2億4,699万円	16.1%
公共下水道事業 (①収益的支出 +②資本的支出)	14億9,819万円	2.5%

- ①…一事業年度の企業の経営活動に伴い発生する全ての費用
- ②…企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良および建設改良に係る企業債償還金などの支出